

八戸

立派な看護職者に

八学大2年生、宣誓式

八戸市の八戸学院大学(法官新一学長)はこのほど、看護学科の学生による「宣誓式」を執り行った。



ろうそくにナイチンゲールの火をともし、看護の道へ進む決意を新たにした学生たち

医療現場での本格的な実習を控える2年生63人が参加

し、看護の道を歩み続ける自覚と責任を再確認した。

式には、保護者や教職員も含め約500人が出席した。白衣に身を包んだ学生たちは手に持ったろうそくに、近代看護教育の母とたたえられるナイチンゲール像から火を拝受。「初心を

忘れず人々の心に寄り添い、常に向上心を持ち謙虚な心で敬意を込めた看護をする」と声を合わせて誓った。

法官学長は「愛と奉仕の精神を持ったナイチンゲールを目指し、研さんを積んでほしい」と激励。2年生を代表し、吉田澄玲さん(19)が「立派な看護職者になれるよう、仲間たちと切磋琢磨していききたい」と決意を語った。

阿保順子氏(北海道医療大学名誉教授・長野県看護大学名誉教授)が「看護技術と身体」と題して記念講演を行った。

(工藤俊介)